

令和 7 年(2025年) 三条市議会第 4 回定例会一般質問発言通告表

発言 順	議席 番号	氏 名	質 問 要 旨	発 言 予 定 日
1	11	酒 井 健 〔一問一答〕	<p>1 知事の柏崎刈羽原発再稼働容認と県民の意思確認について (知事の判断と県民の意思確認、再稼働による影響等についての見解を伺う)</p> <p>2 副市長について (前副市長の退任連絡から 7 か月、退任後 4 か月経過している。見解を伺う)</p> <p>3 国道289号八十里越区間開通に向けた取組について (1) いい湯らていと道の駅のリニューアルについて (2) 八十里越区間の 6 号盛土について (3) 大谷ダム、笠堀ダムの有効活用について (4) 通過交通対策について</p> <p>4 三条市清掃センターについて (1) 火災について (2) 有害ごみについて (3) 広域化について</p> <p>5 熊対策について (1) これまでの熊出没状況、捕獲状況と今後の見込み、対策について (2) 通学路の安全対策について (3) ガバメントハンターについて</p> <p>6 水道事業の広域化について (1) 水道事業ビジョンについて (2) 広域化補助金について</p> <p>7 米価高騰対策について (1) 農家の収益に鑑みた適正な米価についての見解を伺う (2) お米券の発行について</p>	12月3日
2	7	武 藤 元 美 〔一問一答〕	<p>1 小中学校で学校給食の無償化を進めてはどうか (1) 国は来年度からの小学校の給食無償化に動き出したが、食べ盛りの中学生こそ無償化が必要であり、三条市として小中学校の給食無償化を進めてはどうか (2) 三条のおいしい給食の質を守るために、自治体による持ち出しのないよう国に強く求めているかどうか</p> <p>2 地域医療再編後の医療体制について (1) 病院のかかり方の市民への周知はどうなっているのか (2) 県央医師会応急診療所の待合について (3) 市民の命と健康を守るため、済生会新潟県央基幹病院の</p>	12月3日

			<p>持続支援を市としてどう考えているのか</p> <p>3 個人の尊厳を守る終活支援について</p> <p>(1) 無縁遺骨や高齢者の社会的孤立が問題になっている。引取り手のない遺骨の実態。また、孤独死や遺品整理に伴う手続、費用負担が市にのしかかるなどの状況はどうか</p> <p>(2) 誰もが安心して老後を過ごし、最期を迎えられるよう、市として終活サポートの窓口や支援体制を整備してはどうか</p> <p>(3) 全市民を対象にわたしの終活登録事業に取り組んではどうか</p>	
3	1	燕 幸 男 〔一問一答〕	<p>1 浄化槽と下水道の現状と課題について</p> <p>2 熊対策について (市民の安全安心を守るための取組について)</p> <p>3 R S ウイルス感染症について (乳幼児や高齢者等への予防対策について)</p>	12月3日
4	6	内 山 信 一 〔一括質問〕	<p>1 熊対策の強化について</p> <p>(1) 熊による人身被害について、毎日テレビや新聞で報道されている。三条市でも対策が待ったなしと思うが市の見解を伺う</p> <p>(2) ガバメントハンターについて</p> <p>(3) 防災行政無線放送について</p> <p>2 高齢者の孤独、孤立について</p> <p>(1) 岐阜県可児市の高齢者孤立防止事業について</p> <p>(2) 年を取るということについて、また高齢の方への接し方と両親の見送り方について、市として講習会を行ってはどうか</p> <p>3 柏崎刈羽原発再稼働容認について</p> <p>(1) 地元紙の報道で、原発技術者有志が、柏崎刈羽原発6号機は構造的欠陥があり、再稼働させてはならないと県に要望したとあったが、このことについて市の見解を伺う</p> <p>(2) 三条市の原子力防災計画について市民に具体的に説明する必要があると思うが、市の見解を伺う</p>	12月3日
5	12	岡 田 竜 一 〔一括質問〕	<p>1 歴史民俗産業資料館及び別館のさらなる有効活用について</p> <p>2 文化振興基金の執行状況と今後の方針について</p> <p>3 市民に寄り添った窓口対応について (様々なカスタマーハラスメントが想定される。そういった世相を反映して、変化したのか)</p>	12月3日
6	8	長 橋 一 弘 〔一問一答〕	<p>1 三条市に対する住民訴訟「損害賠償請求義務付け事件」について</p> <p>(1) 3人の裁判官の合議にて原告側要求の3人の証人尋問が決定したことについて</p>	12月3日

			<p>(2) 陳述書によると当案件を三条市は「民間企業からの提案を受けた」、一方ワンテابلは「三条市からお声がけを頂いた」とあることについて</p> <p>(3) 三条市は「中国からの送客とツアーの実施業務」とありワンテابلは「三条市が将来的に中国人富裕層向けヘルスツーリズムを大々的な事業として実施する為に必要となるビジネスチャンスの洗い出しや事業実施上の改善点の確認を行うことを主たる目的とした、時限性のある調査」と言っていることについて</p> <p>(4) 三条市はオリンピック・パラリンピック首長連合を通じて、ワンテابلの存在や事業内容を知ったとあるがコンサルタントの島田氏や事務局の樋渡氏からの働きかけや首長連合会長國定氏の意向について</p> <p>(5) ワンテابلが既に都内等でヘルスツーリズム事業の実績があること、三条市が本事業の委託事業者に求める要件を満たす事業者が他に確認できなかった、とあることについて</p> <p>(6) 一者随契であるにもかかわらず、再委託を認識していたことについて</p> <p>(7) 再委託が一部業務に限られている(工数計算上)という認識にもかかわらず再委託先(コロレ)の報酬が約8割を占めることについて</p> <p>(8) ワンテابلに責任はなく委託先のコロレにあるとの認識について</p> <p>(9) ワンテابلは三条市が指示したタイミングでインフルエンサーによる情報発信を行う(覚書の実施)ことを明言。現時点ではコロナウイルスの規制が緩和されていることは明らかだが、三条市は指示することはあるのか。また永遠に指示しないことになれば事業費の違約金相当分以外は返金していただけるのかについて</p> <p>(10) 決算が認定されればあらゆる異議申立ては不可ともいえる認識について</p> <p>(11) 三条市の監査について</p> <p>(12) ワンテابلは三条市には損害が発生していないと認識していることについて</p> <p>(13) 原告が三条市やワンテابلをおとしめる目的があるのではないかと推測せざるを得ない行為を繰り返していると陳述していることについて</p> <p>2 JICAアフリカ・ホームタウン構想の報道に関して</p> <p>(1) 市民への広報及び説明責任について</p> <p>(2) 広報の媒体について</p>	
--	--	--	--	--

			(3) 丁寧な説明のもと、市政を進めるとの市長コメントについて	
7	5	白 鳥 賢 〔一問一答〕	<p>1 本年5月10日発生の本寺小路火災の現場検証の結果について</p> <p>(10月に火災調査が行われたと思うが、火災原因調査、火災損害調査について、当時の被災者の証言と照らし合わせ、その全貌を明らかにすべく、時系列に伺う)</p> <p>2 まちづくりビジョン(仮)の必要性について</p> <p>(まちづくりにおける施策の体系を示した総合計画をよりビジュアルライズし、市民の共感を伴うようなまちづくりビジョン(仮)の作成とその仕掛けの必要性について考えを伺う)</p>	12月4日
8	18	西 川 重 則 〔一括質問〕	<p>1 令和8年度予算編成について</p> <p>(市長2期目、2回目の来年度予算編成に当たり、基本的な方針について)</p> <p>2 組織、機構の見直しについて</p> <p>(中学校の部活動の地域展開に合わせ、三条市立学校施設設備使用条例の本来の所管について)</p> <p>3 三条市防災マニュアルについて</p> <p>(大規模火災や原子力災害に備えた避難所設置について)</p> <p>4 三条市都市計画マスタープランについて</p> <p>(今策定中のマスタープランの都市計画道路の事業化について)</p>	12月4日
9	14	野 寄 久 雄 〔分割質問〕	<p>1 害獣対策の現状とアウトドア産業に対する影響について</p> <p>2 民間事業者への市の事業の委託について</p> <p>(現状と課題、委託を判断する考え方や基準など)</p> <p>3 三条市の移住促進策と定住促進策の現状と課題について</p> <p>4 改正空家法施行後の三条市の現状と課題について</p>	12月4日
10	15	坂 井 良 永 〔一問一答〕	<p>1 地球温暖化対策について</p> <p>(1) 2050年ゼロカーボンシティの表明について</p> <p>(2) 事業者の断熱対策の支援について</p> <p>(3) 太陽光パネル設置の支援について</p> <p>2 農業施策について</p> <p>(1) 米施策について</p> <p>(2) 新規就農者の育成支援について</p> <p>3 中小企業支援について</p> <p>(1) 消費税インボイス制度の中小企業特例措置の延長を国に求めるべきではないか</p> <p>(2) 賃上げをする中小企業に支援金を実施すべきではないか</p>	12月4日
11	10	馬 場 博 文 〔一括質問〕	<p>1 電子投開票システムの導入について</p> <p>2 県央医師会応急診療所の建物外の大行列の改善について</p>	12月4日

12	20	武 石 栄 二 〔一括質問〕	<p>1 少子化に伴う小学校の統合等について</p> <p>(1) しただの郷未来の学校設置準備委員会の進捗状況等について</p> <p>(2) 小学校統合後の下田地域の子供たちの通学環境について</p> <p>(3) 少子化の進行に対する全市的検討について</p> <p>(4) 小学校の跡地利用について</p> <p>2 八十里越開通を見据え、観光等を含めた交流人口拡大に向けた持続可能な取組について</p> <p>(太平洋側から日本海側への通過峠である八十里越開通を見据え、観光地としての施設等の整備状況(大谷ダム、笠堀ダム、袴腰から栗ヶ岳への縦走登山路、いい湯らてい、吉ヶ平山荘、播屋山等)及び道路環境の確認と観光マップ作成等のPRの取組状況はどうか。また、県との協議が不可欠なものもあるが現状等はどうなっているか)</p> <p>3 森林環境譲与税について</p> <p>(2019年に創設された森林環境譲与税について三条市ではどのように活用し、実態はどうか)</p>	12月4日
13	22	佐 藤 和 雄 〔一括質問〕	<p>1 地区住民の交流の場として重要な役割を担っている集会所の現状について</p>	12月5日
14	2	竹 山 嘉 一 〔一問一答〕	<p>1 ふるさと納税を活用した市民プール建設基金の創設について</p> <p>(1) そもそも、市民プールの必要性があると市は考えているのか</p> <p>(2) 寄附金のうちの一定額もしくは一定割合の積立てについて</p> <p>(3) わくわくするプロジェクトとして市民と共に取り組むべきではないか</p> <p>2 熊による人身被害防止に向けた対策について</p> <p>(1) そもそも、熊が出た場合は駆除なのか追い払いなのか</p> <p>(2) 出没情報を発信した後の、その後の情報提供について</p> <p>(3) 熊の餌となる柿の木を減らす施策の必要性について</p> <p>3 地元消雪組合の持続的維持について</p> <p>(1) 空き家が増えて組合構成世帯数が減少している現状について</p> <p>(2) 持続できずに解散する消雪組合が増える想定はしているのか</p> <p>(3) 市内の消雪組合を1つの団体にまとめて市で管理するべきではないか</p>	12月5日
15	3	西 村 邦 明 〔一問一答〕	<p>1 小学生の低学年の登下校の雪道対策について</p> <p>2 三之町病院側の危険な歩道について</p>	12月5日

16	4	岡 本 康 佑 〔一問一答〕	<p>1 三条市サンキッズカード事業について</p> <p>(1) 物価高対策として子供1人からに対象範囲を広げるべきではないか</p> <p>(2) 電子化について</p> <p>(3) 他市と連携して協賛店等を拡大していくべきではないか</p> <p>(4) 制度の効果検証を行っていくべきではないか</p> <p>2 近隣自治体間の広域連携と県央地域の広域連携等について (周辺自治体の首長と連携を加速するべきではないか)</p>	12月5日
17	13	藤 家 貴 之 〔一括質問〕	<p>1 地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)について (地域計画の実態との乖離、担い手不足地域への対応、補助制度への影響と周知体制について)</p> <p>2 農地中間管理事業について (農地中間管理事業の移行に伴い、手続負担や窓口の分かりづらさ、制度と異なる運用が生じている状況について)</p> <p>3 八十里越開通に伴う下田地域の受皿整備と広域連携について</p> <p>(1) 八十里越開通後の地域経済への波及と受皿づくりについて</p> <p>(2) 道の駅移転といい湯らてい再編の方向性について</p> <p>(3) 三条市、只見町、南会津町の広域連携の在り方について</p> <p>(4) 開通記念事業と地元事業者参加の仕組みについて</p>	12月5日
18	16	小 林 誠 〔一問一答〕	<p>1 鳥獣被害の実態と対策について (東北をはじめとして全国で熊の出没と被害が広がっている。新潟県はクマ出没特別警報を発表。厳重な警戒が呼びかけられている。三条市でも例年以上に熊の出没が報告されている。また、熊以外にも猿やイノシシの被害なども深刻だ。三条市の鳥獣被害の実態と、その対策について伺う)</p> <p>2 下田地域の過疎化について (下田地域の過疎化は深刻だ。「年々世帯が減って、先が真っ暗。残った世帯もあと10年少しで何世帯残るのか」などの声が寄せられている。下田地域の過疎化にどう対応するのか伺う)</p> <p>3 柏崎刈羽原発の再稼働について (花角知事は原発再稼働容認を表明した)</p> <p>(1) 県が実施した県民意識調査の三条市分の公表を求め、独自に分析と評価をするべきではないか</p> <p>(2) 県民の信を問う方法として、県民投票を支持する声は大きい。県議会決議のみで地元同意とすることについて市長の見解を伺う</p>	12月5日

※発言予定日は、議事運営等の都合により変更になることがあります。